

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県の河川におけるポリオキシエチレンアルキルエーテルの実態調査および環境負荷低減技術の検討
発表学会名	第59回日本水環境学会年会
発表者名	大野木 卓（環境部）
開催場所	北海道大学（北海道札幌市北区）
発表日時	令和7年3月18日（火） 10:45～12:15
発表内容	ポリオキシエチレンアルキルエーテル（以下、「AE」という）は家庭用洗剤、工業用洗剤や乳化剤等として広く使用される界面活性剤である。また、環境省により水生生物への影響から詳細な評価を行う候補物質とされている。一方、県内の河川における AE の実態は把握されていない。そこで、公共用水域常時監視地点を中心に環境調査を実施し、排出源の解析を行った。 県内の主要河川 34 地点（29 河川）で概況調査を四半期に1回実施したところ、全季全地点で AE が検出され、県内に排出源が広く分布していると推測された。また、8 河川で追加調査を行い、排出源として生活排水や工場からの排水が示唆された。 また、水環境中の AE の負荷低減を目的とした処理技術（紫外線処理、曝気処理、オゾン処理および促進酸化処理）の検討を行い、4 種の処理法が AE の除去に有効であることが示唆された。